

県・市連携文化施設建設工事基本設計業務

基本設計説明書 概要版

平成30年1月

佐藤総合計画・小畑設計共同企業体

建築計画基本方針

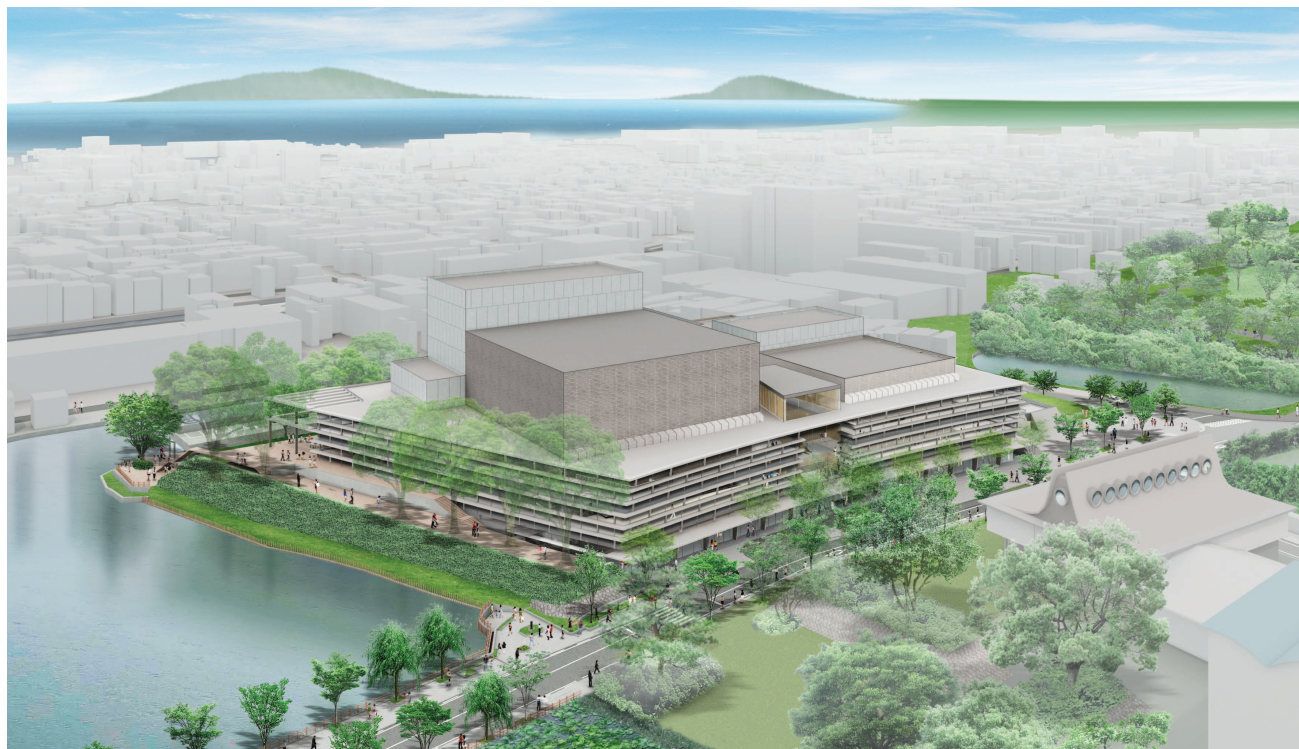
1.はじめに

秋田県と秋田市が連携して整備する県・市連携文化施設については「県・市連携文化施設に関する整備計画」に基づき、県民・市民が集い「創造」「練習」「発表」という各ステージで、優れた環境を提供するとともに、芸術文化に触れる機会を拡充し、人が集う「場」を創出することで、地域の活性化に貢献する施設とすることとしています。

計画地は、千秋公園に隣接し、秋田の歴史、文化の中心として長く県民、市民に親しまれてきた場所であり、また、秋田市が推進する「芸術文化ゾーン」の中にあり、周辺施設との連携や立地環境を活かした、芸術文化の香り高い地域を目指しています。

このため、施設整備にあたっては、県・市の文化振興はもとより中心市街地の賑わい創出に貢献し、歴史ある千秋公園との調和を図りながら、都市の魅力を発信できる高いデザイン性と秋田の文化を象徴するに相応しい施設として計画します。

また、県・市連携文化施設は、この施設を利用する方々、訪れたお客様に、質の高いサービス、おもてなし、環境を提供します。そして、県民、市民が誇りと愛着を持つことのできる、秋田を象徴する「溢れる賑わい、美しい感性、秋田らしい文化」のある施設としていきます。



2.建築計画の基本方針

Concept1 [環境との調和]

敷地四周の原風景を大切に

保存する土塁や樹木に加えて、更に敷地北側の土塁も可能な限り残し、お堀側、中土橋通り側、千秋公園や佐竹小路の原風景を大切にします。

お堀や土塁、保存樹などと呼応し、新たに生まれる景観

土塁の高さに配慮したホワイエやテラスにより、施設の利用風景が樹木の向こうに展開する魅力ある景観が広がる建物構成とします。

水平の低層部と高さを抑えるボリューム配置

水平ラインを基調とした層状の低層部で建物周囲を取り囲みます。客席やフライタワーを建物中央に寄せ、低層部から飛び出るボリュームを小さく見せ、周辺への圧迫感を軽減します。

Concept2 [敷地利用と動線]

芸術文化の活動空間「秋田小路」

二つのホールは現況の県民会館地盤を活用することで、1階に拡がりのある交流空間「秋田小路」を生み出します。中土橋通りの「賑わいの軸」に沿ってエントランスを大きく取ることで、道行く人々を施設に引き込みます。

敷地の東西をつなぐ「芸術の路」

佐竹小路側を「文化の軸」と設定し、東西の動線を結び「芸術の路」をつくります。芸術活動が垣間見える魅力的な創造発信拠点をつくります。

安全安心を配慮した文化施設

敷地内には回遊性のある歩行者動線、ゆとりのある車寄せ、わかりやすい車両出入口を計画します。

Concept3 [利用者等への配慮]

来館者への配慮

入口からすべての行き先が見えるわかりやすい空間構成とします。施設中央にはメインの縦動線である「アートキューブ」を設け、各ホールのホワイエにわかりやすくアプローチします。

演者等への配慮

独立性のある楽屋ゾーン、舞台の搬入がスムーズで安全な計画とします。

ユニバーサルデザインの徹底

子供からお年寄り、障がい者、観光客、外国人など様々な利用者に配慮したユニバーサルデザインを施設に取り入れます。

Concept4 [芸術文化と賑わい]

温かみのある、包み込まれる一体感「高機能型ホール」

柔らかな壁とバルコニーに包まれた特別感のあるホールとします。様々な演目への対応、豊かな響きのあるホールとします。

演出性が高く、臨場感のある「舞台芸術型ホール」

演劇や舞踊など舞台芸術の上演を主用途とするホールとして、演者の肉声や直接音が明瞭に伝わるホールとします。

公園のように利用できるホワイエ「パークホワイエ」

ホワイエはホール利用時以外での日常的な利用を想定し、気軽にくつろげる県民・市民のスペースとして計画します。お堀、久保田城址、芸術文化ゾーンを眺める明るい空間とします。

建築の概要

1. 建築概要

本施設は「県・市連携文化施設に関する整備計画」における「高機能型ホール」「舞台芸術型ホール」「エントランスロビー」「情報発信にぎわい創出部門」「文化創造部門」「管理・共用部」及び、「附属駐車場」の機能を効果的に配置し、総合的な文化施設を目指します。

建築面積（概算）	文化施設	8,600 m ²
	附属駐車場	2,440 m ²
各階床面積（概算） （文化施設）	地階	2,320 m ²
	1階	5,030 m ²
	2階	4,290 m ²
	3階	5,100 m ²
	4階	3,340 m ²
	5階	1,220 m ²
	6階	320 m ²
	ずのこレベル	120 m ²

文化施設		各部門の構成		概算面積 (m ²)	主な諸元	
高機能型 ホール	客席	客席、オーケストラピット、多目的室		7,850	客席数	約2000席（1階席：約1350席、2階席：約650席）
	ホワイエ関係	ホワイエ、トイレ等			プロセニウム間口×高さ 主舞台 開口×奥行 側舞台 幅×奥行 オーケストラピット	約21.6m×約10.0~14.0m 可動プロセニウム 約18.0m×約18.0m 上手：約15.3m×約18.0m 下手：約10.8m×約18.0m 昇降式(椅子収納庫付)約120席、仮設花道(下手側)
	舞台関係	舞台、照明・音響室、倉庫等			楽屋	収容人数：約100名
	楽屋関係	小・中・大楽屋、アーティストラウンジ、トイレ・シャワー室等				
舞台芸術型 ホール	客席	客席、多目的室		4,450	客席数	約800席（1階席：約540席、2階席：約260席）
	ホワイエ関係	ホワイエ、トイレ等			プロセニウム間口×高さ 主舞台 開口×奥行 側舞台 幅×奥行 舞台上(奈落)	約14.4m×約7.2~9.0m 可動プロセニウム 約14.4m×約14.4m 上手：約12.6m×約14.4m 下手：約6.3m×約14.4m 固定道・仮設花道(上手・下手側)
	舞台関係	舞台、照明・音響室、倉庫等			楽屋	収容人数：約80名
	楽屋関係	小・中・大楽屋、アーティストラウンジ、トイレ・シャワー室等				
エントランス ロビー (秋田小路)	エントランス ロビー	来場者の待機スペース ※情報発信にぎわい創出部門との一体的利用		2,050		
	情報発信	情報センター・文化紹介コーナー			ブックカフェ(観光情報コーナー、芸術文化情報コーナー)	
	多目的スペース	多目的スペース				
	カフェ・レストラン	ブックカフェ、レストラン				
情報発信 にぎわい創出 部門	託児室等	キッズコーナー、トイレ等			移動型キッズコーナー、授乳室、おむつ替え室	
	創作室	創作室、給湯室		2,010	5室	
	研修室	研修室			3室	
	練習室	音楽・演劇等練習室、更衣室			9室	
	リハーサル室	リハーサル室			2室（各室約200名程度の小ホール利用も可能）	
	ラウンジ等	ラウンジ、トイレ等				
倉庫等	倉庫等					
文化創造 部門 (芸術の路)	運営管理	事務室、救護室、会議室、倉庫等		5,380	スタッフ約30名	
	共用部	通路、機械室等				
合 計				21,740		

附属駐車場	自走式 1層2段	2,470	駐車台数	附属駐車場：200台程度 外構・その他駐車可能スペース：50台程度
合 計		2,470		

外部駐輪場等	駐輪場、外部倉庫、ゴミ置き場	120	駐輪台数	駐輪場：50台程度 バイク置場：10台程度(外構含む)
合 計		120		